

## おいしさ（とうもろこし）

1

### テーマの設定理由

「おいしい」とは何か？ということが「おいしい」と感じる事なのか。子どもが味わって食べるという経験を本当にしているのか？という問いから、子ども自身が「おいしさ」とは何かを探究する楽しさを知ってもらいたい。

2

### 準備物

- IH
- フライパン
- トング
- 包丁
- まな板
- バット

3

### 食材

- ヤングコーン【栃木県】
- ゴールドラッシュ【千葉県】
- ピュアホワイト【千葉県】
- 油
- 塩



環境設定

## 1 観察

とうもろこしとヤングコーンは参加している全ての子ども達が常に観察できるよう人数分用意する。

「色」や「名前」を問い開ける。

それにオノマトペや擬音語を話しに混ぜて行う。

環境設定

## 2 皮をむく・切る

野菜の臭い・破る時の音・野菜の種類を、能動的な作業を行うことでより体感できるようにする。

皮を破りヤングコーンを取り出す。



環境設定

## 3 変化の観察

各器具の名称を伝える。

調理に使う包丁やIHとフライパンに関して「触らないで」と伝えるのでなく包丁や熱源の危険性を一緒に考えていく。

調理前と調理後の変化を1人1人が感じられるように、フライパンに入った状態で子ども達に見せて周る。この際もう一度子ども達と熱源に触れるとどうなるかを一緒に考え、注意喚起を行う。



環境設定

## 4 共食

大人も子どもも関係なく、1人の人間としての食べた感想をお互いに問いかけ「どうだった？」ながら共食する。

味わうために、全ての種類を一斉に配るのでなく1つずつ品種ごとに配布する。

アンケートをとり、想像やイメージと違ったのか同じだったのかなと言語表現を促す。



環境設定

## 5 活動後

活動が終わった後にすぐ行うことで、興味や探究を維持できる。

掲示や絵本なども用意することで活動がより深まる。



# 環境設定

# 子どもの姿



最初にそら先生が黄色いとうもろこしを剥き、その後にもう一方のとうもろこしを剥くと、「しろい！」とその色の違いに気がついて驚くように声を上げる姿がありました。とうもろこしを包んでいたアルミホイルをそっと手にして、クンクン…と匂いを嗅いでみる姿も。

とうもろこしを手にするると、勢いよく剥き始める子どももいれば、どこから剥いたらいいのか分からず、声をあげて大人にやってほしいことを伝える子どももいました。



ヤングコーンが皮から出てくると、「とうもろこしの赤ちゃん出てきたー!」「せんせい、みてみて。」と誇らしげに見せる姿がありました。また「できない。」と大人に手伝いを求める姿も。皮がピッタリとしていたので境目がわかりにくかったです。

少し手伝うと、自ら手を動かしてやってみようとしていました。



これなんだっけ？とそら先生が聞くと、「トントンするやつ」（まな板）と返したり、包丁を触るとどうなる？という質問には「折れる」と返したり、切れるとは少し表現が違いましたがそれぞれの解釈で「危ない」ということはよく分かっているようでした。

前回よりも興味が強まっているようで、食材を触ろうと手を伸ばす子どもたちの姿が多く見られました。

ゆでる場面ではじっくり観察する子どももいれば、湯気を見て、「あちち！」と言いながら手を叩いたり笑ったりする姿も見られました。



自分たちで一つずつヤングコーンをお湯の中に入れてみました。そっとゆっくり、入れられた子どももいれば、少し怖かったのかサッと手を離して入れる子どももいました。お湯に触るとあぶない、という危険をよく理解しているようでした。



これなんだっけ？というそら先生の質問に、「じゅーじゅー」（あぶら）と、今までの活動の記憶から連想する言葉で表現しながら返す姿が出てきていました。

音がすることを思い出したのか、そっと事前に自分の耳を塞ぐ様子も。

「もっとみたい」と話したり、「いろが変わったね」と焼けて取り出したヤングコーンを見て発見を口にすらし姿もありました。



# いただきます！

見たことのある食材だったからか、食べるのが待ちきれない様子の子  
どもたち。順番に配ると「OOちゃんも！」と早く食べたい、ほし  
い、という気持ちを伝えていました。焼きたてで少しあついでフ  
ーフと冷ましながら、勢いよく食べる子どもたちです。ひと口食べ  
ると「おいしー！」とにこにこ笑顔に^^  
黙々と食べる子どももいました。  
おかわりをした後もまだまだ食べたくて…「おかわり〜！」と粘っ  
ておねがいしている姿もありました。笑



活動後には色々なお野菜が登場する『おやおやおやさい』  
の絵本を読み聞かせしまし  
た。  
今まであまり注目の行かなか  
ったとうもろこしに、みんな  
の指が集まります。  
こんなところに！発見！とば  
かりに「とうもろこし！」  
「いた」と教えてくれました  
た。



お部屋の中に活動時のとうもろこしの  
写真を貼ってみると…



「あ！」とみつけて  
眺めてみたり…



触ってみたり、  
「みてみて」と教えてくれる姿  
もありました



ランチルームにあった食材  
クッションに気がついて、  
「とうもろこし！」と指し  
たり、タッチしたい〜と抱  
っこを求める姿もありまし  
た。

包丁を持つ手を再現して  
トントントン…と動かしてみたり

# 振り返り



## コメント

3回目ともなれば、みんなもうこれからどんなことが始まるのか、だいたい解ってきたようで、回を増すごとに集まりも早くなり、集中力もまして来ているように感じます。普通のとうもろこしは馴染みがある食材ですが、ベビーコーンやヤングコーンに関しては、初めての出会いであった子も多かったかもしれません。初めて見るものを、初めて食べてみて、初めての味と食感で、さらに美味しい！そんな贅沢な探究が毎回出来ていることはとっても贅沢だなあと、子ども達を見ながら思う坪井でした。そしてこのヤングコーン、僕も買って家で調理してみました。ヒゲも食べられるとのことで初めてヒゲを食べました。子ども達だけでなく、保育者も一緒に探究していくことも、様々な場面で子ども達にアウトプットしてあげられる引き出しを増やす上でも、とても大切だとも感じました^^

坪井



## コメント

食育が3回目ということに加えて、今回のとうもろこしは給食にもよく出ている身近な野菜だったからか、子どもたちからの発言が多く見られたり、手を伸ばしてみるなど積極的な姿がより多くなってきたな、と感じた回でした。

前回は豆類で皮剥きから行ったからなのか、はたまた去年度に一度皮剥き体験を行ったからなのか、とうもろこしを手にするるとバリバリと力強く皮をむいていく姿が印象的でした。小さいヤングコーンになるほど皮の密度が詰まっているので境目がわかりにくく、大人に助けを求める子どももいましたが、自ら皮をむいていくその力強い姿に、それぞれの成長を感じた場面でもありました。同じとうもろこしでも色が違う驚きを体験したり、大きさの違いに「あかちゃん」と表現したり、焼き色がついたことによる変化を感じて言葉で表してみたり...

他にも色々な場面で笑顔や反応が見られ、この食育体験が子どもたちにとって安心して楽しめるものになってきたかな、と嬉しく思いました。

次回の活動での子どもの反応も楽しみです。

修行



## 先生コメント

今回の食材は「とうもろこし」でした！緑の皮が付いたままのとうもろこしを見て、みんなこれはなんだ？と不思議な表情を浮かべていましたね。そら先生が皮を剥いて出てきたのは、綺麗な黄色のとうもろこし！元々とうもろこしを知っていた子も知らなかった子も食材に釘付けで、前回、前々回の食の探求の活動を思い出しなのか、食材を見ただけで、「食べたい！」「ジュージューして！」と言っている姿はとても印象的でした。そら先生は美味しい食べ物を持ってきてくれる！とみんな覚えているようでした。

これからも、子どもの意欲、探究心を大事にしながら、子どもたちが新しい食材と出逢う場を素敵なものにしていきたいです。私自身、次回以降の食材がとても楽しみです！

伊藤

